

行政視察報告書

令和 4年 1月 6日

長浜市議会議長 草野 豊 様

長浜市議会議員 千田 貞え

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 東近江市 箕川未来協議会 行政視察
2. 視察期間 令和 4年 1月 6日 (木) ~ 6日 (木)
3. 視察場所及び目的
 - ①滋賀県東近江市・ 空き家活用ホテルについて
・ について
 - ② 県 市 ・ について
・ について

4. 調査内容感想等

・ 視察の目的

空き家・古民家再生の手法として、集落全体を古民家活用のホテルにするため地域の住民と共に事業化を進める活動の実態を聞き、長浜市にも応用できないか視察した。

・ 視察の内容

東近江市箕川地区は国道421号線沿いの道の駅「奥永源寺溪流の里」から山あいの集落で、30軒のうち17軒は空き家、人口は16人。

箕川地区で木工玩具の工房を営む京都出身の井上慎也さんが一昨年地元の人10人と「箕川未来会議」を立ち上げました。その後昨年8月に兵庫県丹波篠山市にある「

集落丸山」を視察、そこで過疎になった地域の空き家を改修し一棟貸のホテル事業を運営し地域再生をしている成功事例の視察をされました。そして、令和3年に「箕川未来協議会」に改め令和5年4月の開業を目指し事業計画を立て、環境省の事業申請をされました。

協議会は地域にひとときの住人として滞在しながら山の暮らし、文化を体験できる郷として箕川町を再興し、若者の地方回帰の促進、林業の振興などを通じて未来につながる豊かな地域づくりを推進することを目的に設置されています。

環境省の採択された事業は「地域循環共生圏（ローカルSDGs）づくりプラットフォーム構築事業」で自然景観、地域資源を最大限生かし自立・分散型の社会形成をしつつ地域特性に応じた資源を補完し支えあい地域の活力を最大限に発揮を目指す考え方です。

この環境省の補助事業に加え東近江市の「コミュニティビジネススタートアップ支援事業」にも応募し県立大学との連携も進められている。

・行政視察の結果を本市議会にどのように反映させるか

県下でも先進的な事例として、長浜市でもこの事例を参考に検討できないか今後注視していきたいと思う。

このように、地域と連携して取り組むことを拙速に結果を求めることなく、じっくり地域の特性、地理、環境も考えながら進められていることを研修出来てよかった。

このように目的を明確化して、そのプランに賛同してもらえるように人選、組織化

更にそれを導く行政や、リーダーの役割等が重要であると思う。

それらが、充足できるならば議会としても積極的に協力しなければならないと思う。

